

生駒市人権教育推進協議会

2026 年度 活動方針

1. はじめに

生駒市人推協がめざす「まち」

- だれもが人として大切にされるまち
- 自分らしく生きられるまち
- 多様性を認め合えるまち
- 人とつながり絆が深まるまち

これらは、人権教育講座「山びこ」のアンケートに記された市民の声を4つに集約したものです。市民が共感し実現を願うテーマとして、市人推協の諸活動に位置づけています。

AIが驚異的なスピードで発展し情報過多と情報の偏向が際立ってきています。

今日、急速な高齢化・少子化の進行、孤立化している家庭、また入管法の改訂によって日本で働き、生活し学ぶ外国人の増加など社会の状況は変化し人権をめぐる課題は深刻さを増してきています。そうした中、2026年は「人権三法」と言われる障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）、ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）、部落差別解消推進法（部落差別の解消の推進に関する法律）が施行されて10年という区切りの年となります。改めてこの法律の趣旨を理解し、市人推協の諸活動を振り返り、取組をすすめていきたいと思ひます。

正しい理解と知る（学ぶ）こと、自分事として考えること、対話とつながりや支えあうこと、そして継続することでだれもが人として大切にされる「まち」をめざします。

2. 具体的な活動

（1）人権教育講座「山びこ」

本協議会の事業の中で、「山びこ」講座の定期開催は、他郡市に例を見ない取組です。今年度も、すべての講座を公開講座として、広く市民の皆さんに参加を呼びかけます。人権の様々な課題について、各分野で活躍されている方を講師としてお招きし、土曜日開催も取り入れ全7回実施します。

これまでの講座のアンケートを参考に、経験を通して、また当事者のお話、親子で参加できる講座も計画しています。

その内容は、多文化共生、南極地域観測隊の活動を通してのお話、共生社会、“絵語りすと”（紙芝居で伝える）による「命・平和・人権」、子どもたちの居場所づくり、発達障害を当事者目線と家族目線で伝えるなど、自分を見つめ直し、人とのつながりを考える講座を設定しています。

中でも第2回は夏休み特別企画、親子で参加できる講座として「南極の経験からのメッセージ」をお届けします。また第6回の講座では、映画「35年目のラブレター」を上映します。奈良市の夜間中学で定年退職後に文字を学ぶ、実話を基にした映画です。ほのぼのとした夫婦愛のストーリーの中に、現在の社会の中で生きにくさを背負っている人たちの現状や大人になってから文字を獲得することの大変さなどが凝縮されています。学びたいと思った時、学びは始まる、学びは何歳からでも始められる、幅広い世代のみなさんに観ていただければと考えます。

いずれの講座も、人権について参加者が自分なりに考え、自らの生き方に活かせる講座です。受講を通して自分を見つめ直し、地域の変革につながるきっかけとなることを期待しています。

（2）人権教育「地区別懇談会」（地区懇）

地区懇は、人権を身近な課題として話し合い、地域の絆を深める活動です。自分たちの地域社会を人権の視点でより暮らしやすいものにしていく「気づき合い」の場として開催してきました。

今年度は「中地区」「西地区」に開催をお願いします。内容、進行等は開催自治会と相談の上、実りある地区懇となるよう計画を進めます。あわせて市人推協の存在意義を含め日頃の諸活動を紹介し、市民とともに歩む市人推協の啓発に努めます。

（3）生駒市人権教育推進協議会研究大会

研究大会は、「人権尊重のまちづくり」に向けた、様々な人権問題の解決をめざす取組、地域にある人権課題を克服する取組などを報告していただき、互いに交流し合う場として開催を重ねてきました。今年度で54回目の開催となります。

活動報告は、40年という長きにわたり地域に根差した活動を継続してきた、ボランティアグループ“ひまわりの集い”の活動について報告していただきます。

また記念講演（第7回「山びこ」講座）では、落語家・天台宗道心寺住職・露の五九洛さんと太神楽曲芸師・豊来家大治朗さんによる夫婦講演です。大治朗さんの発達障害の当事者目線と五九洛さんの家族目線でみんなが笑顔で暮らせる秘訣を笑いを交えて伝えていただきます。

共に生きること、共生社会について考えていきたいと思います。

(4) 生駒市人推教育推進協議会理事研修会

市人推協理事会は加盟団体から選出された理事及び個人会員の理事で構成され、市人推協運営の中核を担っていただいています。そのため、毎年人権教育に関する研修を行い、参加者同士の交流を図りながら、人権感覚を高めていく取組を行ってきました。

今年度は、第6回「山びこ」講座の映画「35年目のラブレター」を研修会と兼ねて実施します。現在、県内には3つの公立夜間中学と3つの自主夜間中学があり、いろいろな国にルーツを持つ人や様々な生い立ちを超えてきた人たちが文字の習得や文化的な学習に日々取り組んでいます。この映画は、識字や夜間中学の現状に目を向けることは識字・夜間中学を知るだけにとどまらず、その背景にある様々な人権課題にも目を向けた臨場感ある内容であるため研修会としました。次年度以降はまた現地研修も設けながら、よりよい理事研修の持ち方を検討していきます。

(5) 人権に関する啓発、広報活動

生駒市人権施策課には、様々な人権課題をテーマにした人権啓発DVDがあり、貸出しを行っています。このDVDの利用が増えています。紹介冊子「じんけんDVD2026」を作成し、自治会をはじめ、学校園やボランティア団体など各種団体にも所蔵するDVDを紹介しています。さらに利用が広がるように、市のHPから簡単にご覧いただけるようになっています。今後も利用された方の意見を参考にして、所蔵するDVDの充実に努めます。

市人推協の広報紙「やまなみ」を年に3回発行します。「総会号」では、市人推協の今年度の活動方針や事業計画を広く市民に伝えていきたいと思えます。次号では、人権教育講座「山びこ」の紹介と参加者の声を中心に、地区懇の様子や今日的な人権課題を分かりやすく掲載していきます。またあわせて、日頃の人権に関する情報は市のホームページでも発信します。

学童保育への出前講座は、ちがいを認めること、自分らしさに気づくこと、自分も人も大切にすることなどをテーマにしたDVDを子どもたちといっしょに視聴し、考える活動です。子どもたちの瑞々しい感性を大切にしながら、それぞれの子どもが成長の機会となるよう取り組んでいます。今年度も開催に向けて積極的に働きかけていきます。

(6) 関係団体の研究大会・研修会への参加

奈良県人権教育推進協議会の加盟団体として、奈人推協をはじめとする関係団体の研究大会・研修会に参加します。多様なスタイルで人権問題やまちづくりに取り組む組織・団体等の実践に学び、そこで得たことを活動に活かします。

第58回奈人推協研究大会、第47回平和・解放教育講演会、第53回奈良県人権・部落

解放研究集会をはじめとした研修に積極的に参加し、多様な立場の人たちとの交流を通して、確かな人権意識・感覚をもつことが出来るように努めます。そして、本市人推協のより豊かな活動の構築につなげていきます。

3. 終わりに

「人権」と聞くと何か難しいものにとらえ、とても遠くにおきがちですが、とても身近にあって誰もが心で理解できるはずのものであると考えています。私たち一人ひとは、生まれながらにしてかけがえのない存在です。『あなたも私も大切に』様々な人権課題を理解し解決するため、市人推協はあらゆる機会を通して人権に関わる情報を発信しながら、これからも諸事業のより一層の充実を図っていきます。